

コンクリートがれき有効利用技術

1. 技術の名称		石炭灰原粉とコンクリート殻を多量混入したリサイクルコンクリート製造・施工技術	
2. 有効利用技術の区分			
①処理方法	<input type="checkbox"/> 無処理 <input checked="" type="checkbox"/> 分別 <input checked="" type="checkbox"/> 破碎 寸法: <input type="checkbox"/> 300mm以上 <input type="checkbox"/> 300mm以下 <input type="checkbox"/> 100mm以下 <input checked="" type="checkbox"/> 40mm以下 <input type="checkbox"/> 20mm以下 <input type="checkbox"/> その他 破碎方法() <input type="checkbox"/> その他		
②用途	<input checked="" type="checkbox"/> コンクリート用骨材 <input type="checkbox"/> 盛土材 <input type="checkbox"/> 埋戻し材 <input type="checkbox"/> 路盤材 <input type="checkbox"/> その他 ()		
③その他			
3. 技術の内容			
①基本的考え方			
アッシュクリート『石炭灰原粉等の焼却灰を大量に有効利用した硬化体製造技術』を基本として、コンクリートがれき、スラグ等を混入したリサイクルコンクリートの消波ブロック・護岸構造物等の港湾工事への適用を提案する。			
②対象とするコンクリートがれき			
・RC40相当			
③技術の概要(処理方法、使用材料、機械設備等)			
・製造設備:一般的なコンクリート製造プラント ・使用材料:コンクリートがれき, 練混ぜ水(海水), セメント, 石炭灰原粉, スラグ(単位容積質量確保の場合) ・運搬方法:ダンプトラック ・打込み, 締固め等, 型枠等:通常のコンクリートと同等の設備			
 			
④本技術を活用し、得られた目的物の性状等			
 <p>強度発現特性</p>			
⑤利用先・用途(実績等) * 適用できない場合なども含めて記述			
・消波ブロック, 護岸構造物の港湾, 護岸工事等			
⑥特許・技術審査証明・NETIS登録状況等			
・特許第3993914多量の微粉体を用いた硬化体製造のための配合比決定方法 ・特許第4494576号焼却灰を主材料としたブロック製造方法			
⑦コスト			
・通常のコンクリートより数十%のコストダウンが可能である。			
4. 意見等			
5. 連絡先			
会社名	株式会社 間組	担当者	福留和人
所在地	茨城県つくば市苅間515-1	所属・役職	技術研究所 主席研究員
		TEL:029-858-8813	E-Mail:fk1017@hazama.co.jp